



Windows ME インストールガイド

Windows ME

Windows MEにはアップグレード版を含め数種類ありますが、おもに2種類に分けられます。

パッケージ版	ソフト単体で箱に入って売られているもの。
OEM版	フィルム包装でハードディスクやマザーボードなどと一緒に購入することができ、単体で買うことはできないもの。

パッケージ版とOEM版の違い。

パッケージ版	起動用フロッピーディスクが付属しています。 アップグレード版には起動用フロッピーディスクは付属していません。
OEM版	起動用フロッピーディスクは付属していません。

どちらもインストールの際にCDブート（CDから起動すること）ができます。

インストールの前準備

1. プリンターやデジカメなどの周辺機器は接続しない状態でインストールして下さい。
接続したままインストールすると時間がかかったり、トラブルの原因になったりすることがあります。
事故防止のため、周辺機器を取り外す時は必ず本体の電源を切ってから行って下さい。
2. ディスプレイ・キーボード・マウスが本体に接続されているか確認しましょう。

Windows ME インストール方法

ここではOEM版Windows MEを、CD-ROMから起動する新規インストール方法を紹介しています。

パッケージ版、OEM版ともインストール方法はだいたい同じですので参考にして下さい。

CD-ROMが2枚入っている場合は、ホログラム印刷されている方を使用します。

参考

- ・CD-ROMから起動してインストールする場合は、あらかじめパソコンのBIOSの設定をCD-ROMから起動できるようにしておく必要があります。当社で販売しているパソコンは、標準設定でCD-ROMからも起動できるようになっております。
- ・新規インストール方法ではハードディスクを初期化してしまうため、ハードディスクにデータが入っている場合は中のデータが消えてしまいます。現在お使いのパソコンにWindowsを新規に再インストールする際、ハードディスクに必要なデータがある時はあらかじめバックアップを取っておきましょう。

インストール手順

1. FDISKを実行して領域を確保
 - 1.1 ハードディスクを複数ドライブに分けて使う場合
 - 1.2 ハードディスクを1つのドライブで使う場合
2. 確保したCドライブの領域をアクティブに設定
3. Windows MEのインストール
4. チップセットドライバーのインストール
5. VGAドライバーのインストール
6. お持ちの各種周辺機器用（プリンター・デジカメなど）ソフトのインストール

それではインストール手順にそって Windows ME をインストールしてみましょう。

1. FDISK を実行して領域を確保

1.1 ハードディスクを複数ドライブに分けて使う場合

(例では 20GB[ギガバイト]のハードディスクを Cドライブ 4GB、Dドライブ 16GB で作成してみます)

(1) 電源を入れて、すばやく CD-ROM を挿入します。

無事に CD-ROM から起動できると、「Microsoft Windows ME CD-ROM Startup Menu」が表示されます。うまく起動できなかった場合は CD-ROM を入れたまま再起動します。

「2. Boot form CD-ROM.」を選びます。

「2」キーを押して[2]を選んで Enter キーを押します。

```
Microsoft Windows ME CD-ROM Startup Menu
-----
1. Boot from Hard Disk.
2. Boot form CD-ROM.

Enter a choice: 2      Time remaining: 10
```

(2) 「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されます。

「2. Start computer with CD-ROM support .」を選びます。

[2]を入力して Enter キーを押します。

```
Microsoft Windows Millennium Startup Menu
-----
1. Start Windows Setup from CD-ROM.
2. Start computer with CD-ROM support.
3. Start computer without CD-ROM support.

Enter a choice: 2      Time remaining: 10

F5=Safe mode   Shift+F5=Command prompt   Shift+F8=Step-by ...
```

(3) しばらくすると、キーボードのタイプを選択する画面が表示されますので、キーボードの左上にある「半角/全角」キーを押します。

(4) 「A:>」(コマンドプロンプトと呼びます)と表示されますので、キーボードから「FDISK」と入力して Enter キーを押します。(大文字、小文字どちらでも大丈夫です)

(5) 「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)・・・? [Y]」と聞いてきますので、[Y]のまま Enter キーを押します。

ハードディスクセットアッププログラム「FDISK オプション」画面が表示されます。

```
Microsoft Windows Millennium
ハードディスクセットアッププログラム
(C)Copyright Microsoft Corp. 1983-2000

FDISK オプション
現在のハードディスク: 1
次のうちどれかを選んでください:
1. MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成
2. アクティブな領域を設定
3. 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除
4. 領域情報を表示
どれかを選んでください: [ 1 ]
```

FDISK を終了するには Esc キーを押してください。

- (6) 「1. MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成」を選びます。
[1]と入力して、Enter キーを押して下さい。
「MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成」画面が表示されます。

```
MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成
現在のハードディスク： 1
次のうちどれかを選んでください：
  1. 基本 MS-DOS 領域を作成
  2. 拡張 MS-DOS 領域を作成
  3. 拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成

どれかを選んでください： [ 1 ]

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください。
```

- (7) 「1. 基本 MS-DOS 領域を作成」を選びます。
[1]と入力して、Enter キーを押してください。
ハードディスクの容量が多いほど、領域の作成には時間がかかります。
領域の作成は数分から数時間におよぶ場合もあります。

「ドライブをチェックしています...」と表示され、「基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします)・・・?」と聞いてきますので、[N]と入力して、Enter キーを押して下さい。

「ドライブをチェックしています...」と表示され、
「基本 MS-DOS 領域を作成」画面が表示されます。

```
基本 MS-DOS 領域を作成

現在のハードディスク： 1

ディスクの総容量は 61440 M バイトです。(1 M バイト=1048576 バイト)
領域に割り当て可能な最大領域は 20480 M バイト(100% )です。

領域のサイズを M バイトか全体に対する割合で(%)入力してください。
基本 MS-DOS 領域を作ります .....: [ 4096 ]

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください。
```

- (8) 「領域のサイズを M バイトか全体に対する割合で (%) 入力してください・・・」と表示されますので、基本 MS-DOS 領域 (C ドライブ) に確保したい領域のサイズを任意の「数字」か「%」で入力して、Enter キーを押して下さい。(例では 4096M バイト割り当てました)
「基本 MS-DOS 領域を作成しました」とハードディスクの状態が表示されます。
「続けるには Esc キーを押してください。」と表示されるので、Esc キーを押して「FDISK オプション」画面に戻ります。

```
          基本 MS-DOS 領域を作成

現在のハードディスク : 1

領域 状態 種類 ボリューム M バイト システム 使用
C :1   PRI DOS           4096 UNKNOWN  20%

基本 MS-DOS 領域を作成しました。

続けるには Esc キーを押してください。
```

- (9) 拡張領域を作成します。
(5)の「FDISK オプション」画面表示から、(6)と同じ「1. MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成」を選びます。[1]と入力して、Enter キーを押して下さい。
次に「2. 拡張 MS-DOS 領域を作成」を選びます。[2]と入力して、Enter キーを押して下さい。「ドライブをチェックしています...」と表示され、「拡張 MS-DOS 領域の作成」画面が表示されま

```
          拡張 MS-DOS 領域の作成

現在のハードディスク : 1

領域 状態 種類 ボリューム M バイト システム 使用
C :1   PRI DOS           4096 UNKNOWN  20%

ディスクの総容量は 61440 M バイトです。(1 M バイト=1048576 バイト)
領域に割り当て可能な最大領域は 16384 M バイト (80% )です。

領域のサイズを M バイトか全体に対する割合で(%)入力してください。
拡張 MS-DOS 領域を作ります .....: [ 16384 ]

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください。
```

- (10) 「拡張 MS-DOS 領域を作ります…」に数字がすでに表示されていますので、**そのまま Enter キー**を押して下さい。(例では 16384M バイトです)

ハードディスクの容量が多いほど、領域の作成には時間がかかります。
領域の作成は数分から数時間におよぶ場合もあります。

「拡張 MS-DOS 領域を作成しました。」と割り当てた状態が表示されます。

```
          拡張 MS-DOS 領域の作成

現在のハードディスク： 1

領域 状態 種類   ボリューム M バイト システム 使用
C :1   PRI  DOS           4096 UNKNOWN  20%
      :2   EXT  DOS          16384 UNKNOWN  80%

拡張 MS-DOS 領域を作成しました。

続けるには Esc キーを押してください。
```

- (11) 拡張領域に D ドライブを作成します。

「続けるには Esc キーを押してください。」と表示されていますので Esc キーを押して下さい。「論理ドライブは定義されていません」「ドライブをチェックしています…」と表示され、「論理ドライブのサイズを M バイトか全体に対する割合(%)で入力してください…」に数字がすでに表示されていますので、**そのまま Enter キー**を押して下さい。(例では 16384M バイト)

ハードディスクの容量が多いほど、領域の作成には時間がかかります。
領域の作成は数分から数時間におよぶ場合もあります。

拡張領域内の使用可能な領域を全て論理ドライブに割り当て終わると、「拡張 MS-DOS 領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」というメッセージと拡張領域の状態が表示されて、D ドライブが作成できました。

参考

ここで表示されている数字より少ない任意の「数字」や「%」を入力して Enter キーを押すと、拡張領域内の使用可能な領域を全て論理ドライブとして割り当て終わるまで、論理ドライブの割り当て作業を繰り返し、E、F、G…とドライブを複数に分けることが出来ます。

```
          拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成

Drv ボリューム M バイト システム 使用
C :1           4096 UNKNOWN  20%
D :2          16384 UNKNOWN  80%

拡張 MS-DOS 領域の使用可能な領域はすべて
論理ドライブに割り当てられています。
続けるには Esc キーを押してください。
```

1.2 ハードディスクを1つのドライブで使う場合

以下の作業を行なうことによりハードディスクを1つのドライブとしてお使いになれますが、Windows システムファイルとワープロなどのアプリケーションソフトなどで作成したデータファイルを同じドライブに保存することになりますので、Windows が不調になり再インストールする必要がある場合、せっかく作成したデータファイルも消えてしまいますので、ハードディスクは複数のドライブに分けて使うことをお勧めします。

(1) 1.1 (1)と同じです。

(2) 1.1 (2)の画面で「1. Start Windows Setup from CD-ROM .」を選びます。

[1]を入力して Enter キーを押します。

(3) 1.1 (3)と同じです。

(4) 1.1 (4)と同じです。

(5) 1.1 (5)と同じです。

(6) 1.1 (6)と同じです。

(7) 「1. 基本 MS-DOS 領域を作成」を選びます。

[1]と入力して、Enter キーを押してください。

ハードディスクの容量が多いほど、領域の作成には時間がかかります。

領域の作成は数分から数時間におよぶ場合もあります。

「ドライブをチェックしています...」と表示され、「基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てますか (同時にその領域をアクティブにします) ... ?」と聞いてきますので、[Y]と入力して、Enter キーを押して下さい。

(8) 「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。...」と表示されますので、フロッピーディスクを抜いて電源を切ります。

この作業は C ドライブの領域確保とアクティブ設定が同時に行われますので、「2. 確保した C ドライブの領域をアクティブに設定」作業は必要ありません。

続けて Windows ME をインストールする場合は、「3. Windows ME のインストール」に進みます。

2. 確保したCドライブの領域をアクティブに設定します。

必ず基本領域をアクティブに指定して下さい。

アクティブに設定したドライブが起動ドライブになります。

(1) 1.1 (5)の「FDISK オプション」画面表示から、「2. アクティブな領域を設定する」を選びます。

[2]と入力して、Enter キーを押して下さい。

下のような「アクティブな領域を設定」画面が表示されます。

```
          アクティブな領域を設定

現在のハードディスク： 1

領域 状態 種類 ボリューム Mバイト システム 使用
C :1   PRI DOS           4096 UNKNOWN 20%
      :2   EXT DOS           16384 UNKNOWN 80%

ディスクの総容量は 20480 Mバイトです。(1 Mバイト=1048576 バイト)
アクティブに設定したい領域の番号を入力してください.....: [ 1 ]

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください。
```

(2) 基本領域をアクティブにしたいので、[1] と入力して、Enter キーを押して下さい。

「領域」C : 1 の「状態」にAと表示されます。

```
          アクティブな領域を設定

現在のハードディスク： 1

領域 状態 種類 ボリューム Mバイト システム 使用
C :1   A  PRI DOS           4096 UNKNOWN 20%
      :2   EXT DOS           16384 UNKNOWN 80%

ディスクの総容量は 20480 Mバイトです。(1 Mバイト=1048576 バイト)

領域1がアクティブになりました。

続けるには Esc キーを押してください。
```


(3) 設定を確認します。

「続けるには Esc キーを押してください。」と表示されていますので Esc キーを押して下さい。

(5)の「FDISK オプション」画面から、「4. 領域情報を表示」を選びます。

「領域情報を表示」画面が表示されます。

```
領域情報を表示

現在のハードディスク : 1

領域 状態 種類 ボリューム M バイト システム 使用
C :1  A  PRI DOS          4096 UNKNOWN 20%
   :2  EXT DOS          16384 UNKNOWN 80%

ディスクの総容量は 20480 M バイトです。(1 M バイト=1048576 バイト)

その拡張 MS-DOS 領域には論理 MS-DOS ドライブが含まれています。
論理ドライブの情報を表示しますか(Y/N) ..... ?[Y]

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください。
```

(4) 「論理ドライブの情報を表示しますか(Y/N)・・・?[Y]」と表示されていますので、[Y]のまま Enter キーを押すと、「論理 MS-DOS ドライブ情報を表示」画面が表示されDドライブが確認できます。

```
論理 MS-DOS ドライブ情報を表示

Drv ボリューム M バイト システム 使用
D:          16384 UNKNOWN 100%

拡張 MS-DOS 領域は全部で 16384M バイトです。(1 M バイト=1048576 バイト)

続けるには Esc キーを押してください。
```

(5) 設定を有効にするためにパソコンを再起動します。

「続けるには Esc キーを押してください。」と表示されていますので Esc キーを押して下さい。

「FDISK を終了するには Esc キーを押して下さい。」と表示されていますので、更に Esc キーを押して FDISK を終了します。

「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されますので、フロッピーディスクを抜いて電源を切ります。

続けて Windows ME をインストールする場合は、「3. Windows ME のインストール」に進みます。

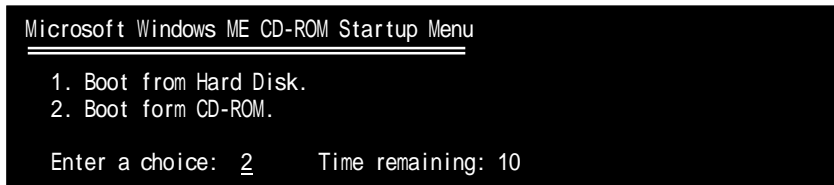
3. Windows ME のインストール

- (1) 電源を入れて、すばやく CD-ROM を挿入します。

無事に CD-ROM から起動できると、「Microsoft Windows ME CD-ROM Startup Menu」が表示されます。タイミングが合わず「Missing operating system」と表示され起動できなかった場合は CD-ROM を入れたままリセットスイッチを押すか、「Ctrl」・「Alt」・「Delete」キーを 3 ついっぺんに押してパソコンを再起動しもう一度再起動しましょう。

「2. Boot form CD-ROM.」を選びます。

「2」キーで[2]を選んで Enter キーを押します。



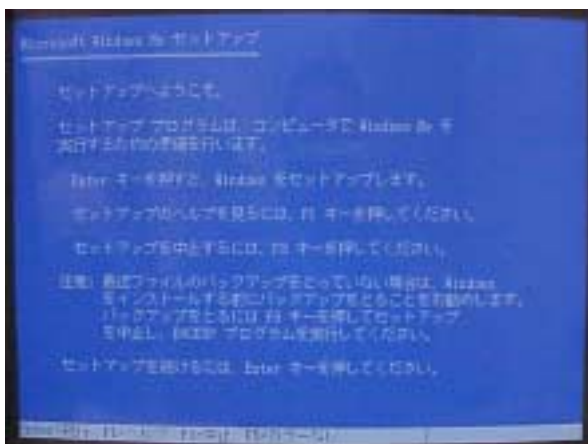
- (2) 「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されます。



- (3) 「1. Start Windows Setup from CD-ROM」を選択します。[1] と入力して、Enter キーを押して下さい。キーボードのタイプを選択する画面が表示される場合がありますが、その時はキーボードの左上にある「半角/全角」キーを押します。

- (4) 「Microsoft Windows Me セットアップ」という青い画面になります。

「Enter キーを押すと、Windows をセットアップします。」と表示されていますので、Enter キーを押します。

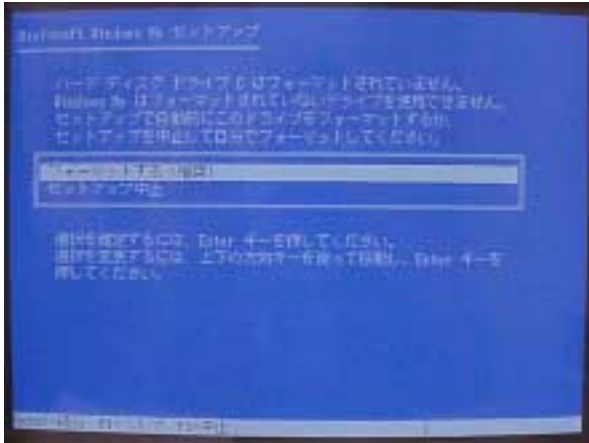


- (5) 「ハードディスクドライブ C はフォーマットされていません。…」と表示され、「フォーマットする(推奨)」が選ばれていますので、**そのまま Enter キー**を押します。フォーマットが開始されフォーマット状況が表示されます。

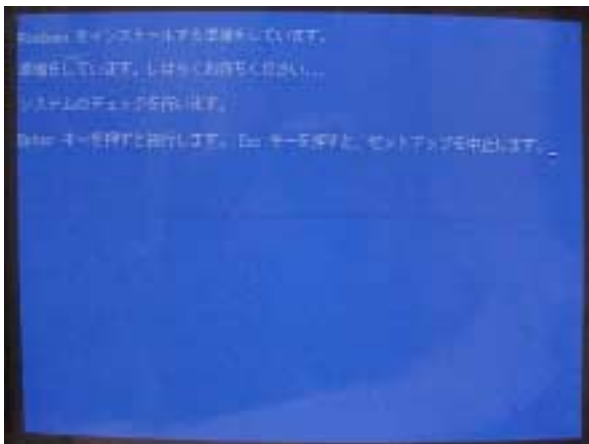
ハードディスクの容量が多いほど、フォーマットには時間がかかります。

フォーマットは数分から数時間におよぶ場合もあります。

ハードディスクを複数のドライブに分けている場合は、D、E、F…と続けてフォーマット画面が表示されるのでフォーマットを続けます。



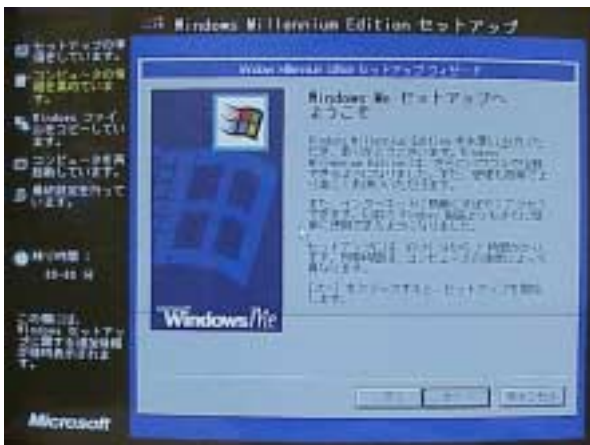
- (6) 「Windows をインストールする準備をしています。…」と表示され、「Enter キーを押すと、Windows をセットアップします。」と表示されていますので、**Enter キー**を押します。



- (7) Scandisk が始まりハードディスクを検査します。異常がなければ「ドライブ C にはエラーがありませんでした。」「ドライブ D には…」と表示されますので、「終了[X]」を選びます。キーボード左下側にある[X]キーを押して下さい。



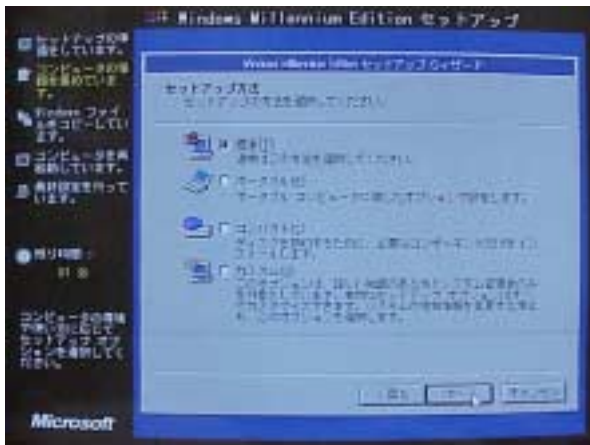
- (8) 「Windows Millennium Edition セットアップ」が始まり、「Windows Me セットアップへようこそ」と表示されますので、「次へ>」をマウスでクリックします。



- (9) 「Windows Millennium Edition セットアップウィザード」が始まり、「ディレクトリの選択」「Windows をインストールするディレクトリを選択してください。」と表示され、「C : Windows」が選ばれているので、「次へ>」をマウスでクリックします。



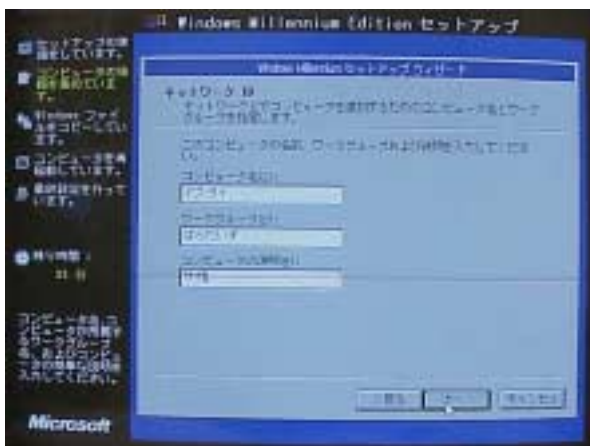
- (10) 「セットアップ方法」画面が表示され、「標準」が選ばれていますので、「次へ>」をマウスでクリックします。



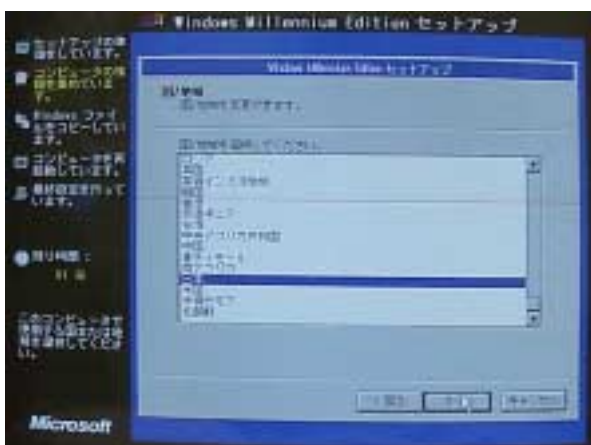
- (11) 「Windows コンポーネントの選択」画面が表示され、「標準的なコンポーネントをインストールする(推奨)」が選ばれていますので、「次へ>」をマウスでクリックします。



- (12) 「ネットワーク ID」画面が表示され、「コンピュータ名:」「ワークグループ:」「コンピュータの説明:」の入力を求められるので任意の文字を入力して、「次へ>」をマウスでクリックします。
「コンピュータ名:」には判り易い名前を入力しましょう。他のパソコンとネットワーク接続した時はこの名前がネットワーク上で表示されます。ネットワークで接続するパソコン同士は必ず同じワークグループ名にしてください。



- (13) 「国/地域」画面が表示されますので、一覧から「日本」を選んで「次へ>」をマウスでクリックします。



- (14) 「タイムゾーンの選択」画面が表示されますので、「(GMT+09:00)東京、大阪、札幌」を選んで「次へ>」をマウスでクリックします。



- (15) 「ファイルのコピー開始」画面が表示されますので、「完了>」をマウスでクリックします。



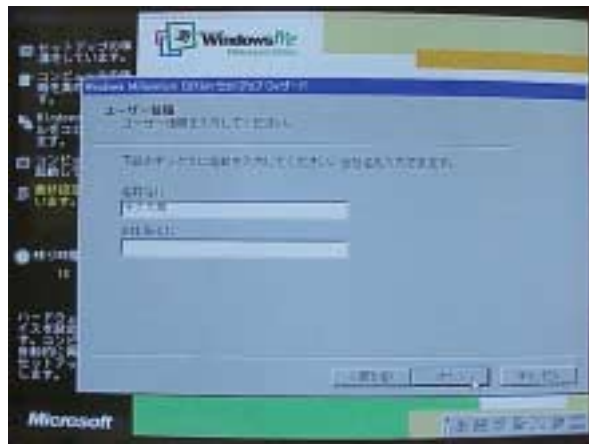
- (16) ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「コンピュータの再起動」画面が表示されますので、CD-ROMをドライブから取り出して、「今すぐ再起動する(R)」をマウスでクリックします。



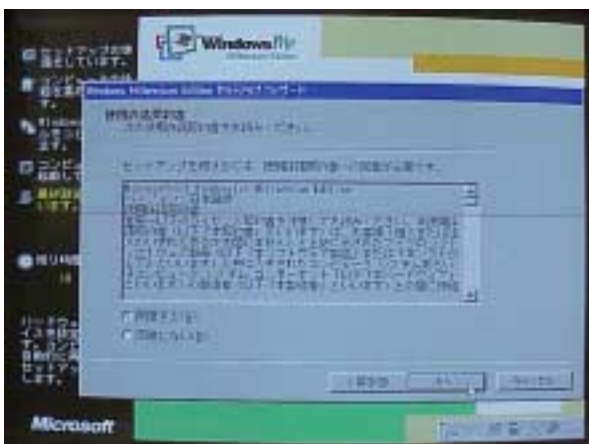
- (17) いよいよ Windows ME の起動画面が表示されました。
しばらく「ハードウェアの設定」などの画面が表示されます。
その後「ユーザー情報」画面が表示され、「名前(A):」「会社名(C):」の入力を求められるので、任意の文字を入力して、「次へ>」をマウスでクリックします。

参考

- ・「名前(A):」は日本語も使用できます。ここで入力した名前は後ほど必要になります。
- ・「会社名(C):」は未入力でも大丈夫です。



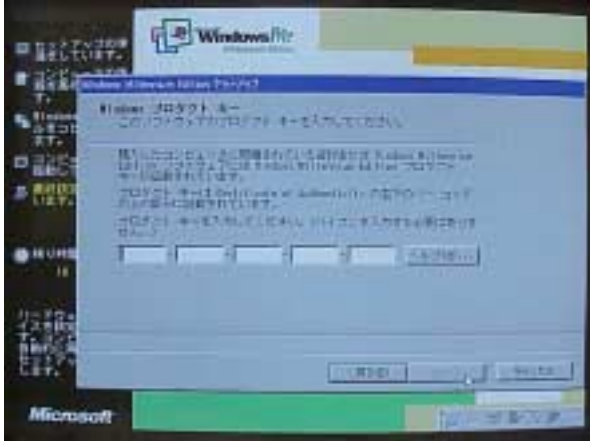
- (18) 「使用許諾契約書」画面が表示されますので、「使用許諾契約書」の内容に異存がなければ「同意する(A)」を選んで、「次へ>」をマウスでクリックします。



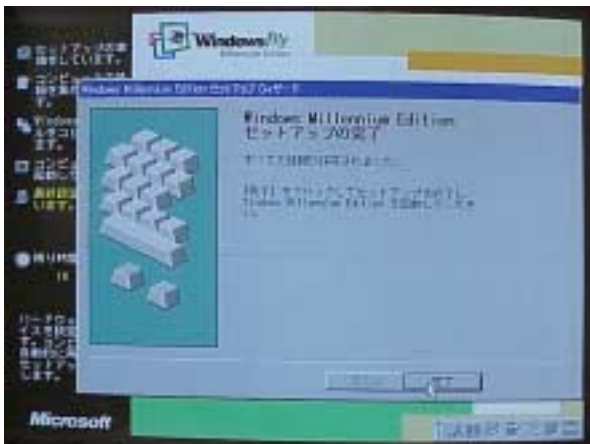
(19) 「Windows プロダクトキー」画面が表示されますので、プロダクトキーを入力して「次へ>」をマウスでクリックします。

参考

- ・プロダクトキーはOEM版には包装フィルムに貼られているシールに25桁の英数字で記載されています。
- ・プロダクトキーシールは大切に保管しておいてください。
- ・製品版にはマニュアルの表面のホログラム部分に25桁の英数字で記載されています。



(20) 「Windows Millennium Edition セットアップの完了」画面が表示されますので、「完了」をマウスでクリックします。



(21) 「コンピュータの再起動」画面が表示されますので、「今すぐ再起動する(R)」をマウスでクリックします。

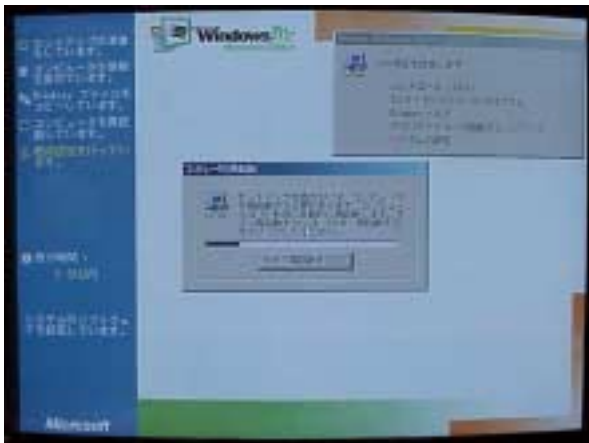


(22) Windows ME の起動画面が表示されます。

その後しばらく「Windows Millennium Edition セットアップ」などの画面が表示されます。



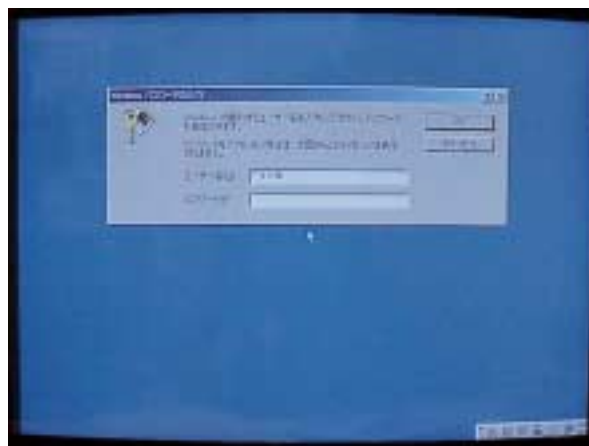
(23) 「コンピュータの再起動」画面が表示されますので、「今すぐ再起動する(R)」をマウスでクリックします。



(24) Windows ME の起動画面が表示されます。

その後「Windows パスワードの入力」画面が表示され、「ユーザー名(U)」と「パスワード(P)」の入力を求められます。(17) で入力した「ユーザー情報」の「名前(A):」を「ユーザー名(U)」に入力します。

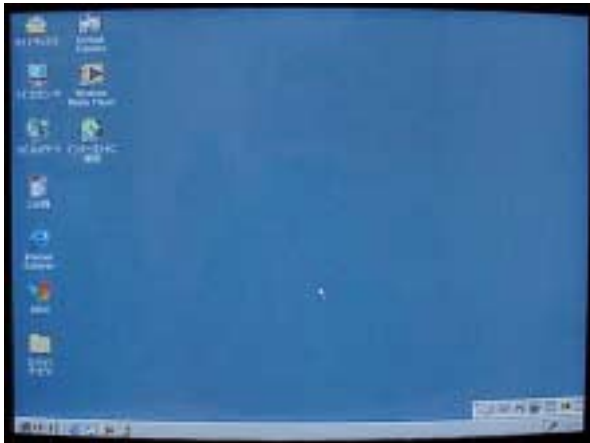
「パスワード(P)」は必要なければ未入力のまま大丈夫です。「OK」をマウスでクリックします。



(25) 「Microsoft IME 2000 セットアップ」画面が表示されますので、「OK」をマウスでクリックします。



(26) これで Windows ME のインストールは無事完了しました。



4. チップセットドライバーのインストール

マザーボードにはパーツを的確に動作させるためのチップセットが搭載されています。チップセットを正常に機能させるために、チップセット専用設計のドライバーソフトがマザーボード付属のCD-ROMに収納されています。CD-ROMの中には、複数の製品に対応できるように数種類のドライバーが入っている場合があります。そのような時は製品名や型番などを参考にして、CD-ROMの中から該当するフォルダ名やファイル名を探し、その中にある Set up.exe などのインストールプログラムをダブルクリックしてドライバーをインストールしてください。

CPU やメモリなど、パーツの違いによってさまざまな仕様があり、多種多様の種類のチップセットがチップセットメーカーからマザーボードメーカーに供給されています。マザーボードのマニュアルなどを参考にしてください。

ドライバーをインストールすることで、不具合が改善されたり、パフォーマンスが上がったりしますが、逆に今まで正常だった箇所が不調になってしまうこともあります。

「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を選んで、「システムのプロパティ」を開き、「デバイスマネージャー」タブをクリックしますと、コンピュータに接続されている機器やチップセット情報を見ることが出来ます。各機器のところに「！」や「？」のマークがついていなければ、パソコンは正常に機能していますので、特にドライバーをインストールする必要はありません。

5. VGA ドライバーのインストール

パソコンの画面表示を理想的に処理できるように、グラフィックカード付属のCD-ROMやフロッピーディスクには専用設計のドライバーソフトが収納されています。付属のCD-ROMやフロッピーディスクの中には、複数の製品に対応できるように数種類のドライバーが入っている場合があります。そのような時は製品名や型番などを参考にして、CD-ROMやフロッピーディスクの中から該当するフォルダ名やファイル名を探し、その中にある Set up.exe などのインストールプログラムをダブルクリックしてドライバーをインストールしてください。グラフィックカードのマニュアルなどを参考にしてください。

マザーボードにグラフィック機能が含まれている（ディスプレイのコネクタがマウスやキーボードなどのコネクタの近くにある）場合はマザーボード付属のCD-ROMに入っています。マザーボードのマニュアルなどを参考にしてください。

ドライバーをインストールすることで、不具合が改善されたり、パフォーマンスが上がったりしますが、逆に今まで正常だった箇所が不調になってしまうこともあります。

「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を選んで、「システムのプロパティ」を開き、「デバイスマネージャー」タブをクリックしますと、コンピュータに接続されている機器やチップセット情報を見ることが出来ます。各機器のところに「！」や「？」のマークがついていなければ、パソコンは正常に機能していますので、特にドライバーをインストールする必要はありません。

6. お持ちの各種周辺機器用（プリンター・デジカメなど）ソフトのインストール

Windows ME と各ドライバーソフトをインストールし、パソコンが正常に機能していることが確認できたら、お持ちの周辺機器のソフトをインストールしましょう。

各周辺機器の使用方法やソフトのインストール方法は製品付属のマニュアルをご覧ください。

商標

Microsoft Windows は米国マイクロソフト社の登録商標です。

Windows ロゴは米国マイクロソフト社の登録商標です。

本書の一部および全部について、株式会社サードウェーブから文書の許諾を受けずに、いかなる方法においても無断複写、複製、画像の転記などは一切禁じられています。

本書の内容に基づく運用結果に関しては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本書によるいかなる損害も弊社では保証いたしかねます。

監修 / 著者 : DOS/V パラダイス技術サポート

© Copyright 2001 THIRDWAVE Corporation. All rights reserved.

DOS/Vパラダイス